

# あかふじ

ニュース

第 10 号

発行 平成26年3月  
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》  
<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》  
<http://www.pref.yamanashi.jp/bosai>

山梨県消防防災航空隊  
〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1  
TEL 0551-20-3601  
FAX 0551-20-3603  
E-mail [bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp)

- ・平成25年度緊急運航出動実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
- ・県庁防災新館完成に伴う屋上HP離着陸訓練・・・・・・・・・・3
- ・富士山世界文化遺産に伴う災害対応訓練・・・・・・・・・・4
- ・豪雪に伴う災害対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～6
- ・北岳登山訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ・野営訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- ・合同訓練実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9～13

# 平成25年度緊急運航実績報告

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
		救 助	救助件数	8	3	4	18	14	15	14	7	5	
救助人員	8		5	3	16	12	14	13	6	4			81
救 急	救急件数	7	3	4	14	12	12	10	6	4			(72)
	搬送人員	7	3	3	14	12	12	10	6	4			71
火 災	災害件数	1	8		1	3	1			1			(15)
	飛行回数	2	23		1	6	1			1			34
災害応 急対策	災害件数												
	救助人員												
相互応援・ 広域航空消防応援	救助				2								(2)
	救助人員				2								2
救急	救急件数				2								(2)
	搬送人員				2								2
火災	災害件数	1	3										(4)
	飛行回数	3	6										9
その他	災害件数												
	救助人員												
	件数合計												(183)
	緊急運航及び相互応援・広域航空応援（受援）の合計件数												225件

今年度の災害件数は上記表のとおり、平成26年3月10日までに183件でした。

この内、救助活動件数は90件で、山梨県内の活動が88件、長野県で2件の救助活動を行いました。また、救助活動に伴う救急搬送人員は救急活動での搬送人員と合わせて73人でした。

緊急運航全体の85%が救助活動です。また、火災に伴う活動は全体の約10%で、長野県2件・群馬県2件に出動しました。

※救助活動とは、要救助者を救助しへりに収容したことをいい、引き続き病院搬送した場合は救急活動としてカウントしてあります。

## 平成25年度相互応援・広域航空消防応援（受援）

区分		件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数			3		2		1				10	(16)	
		救助人員			3		1		1					19	24
	救急	救急件数			3		1		1					6	(11)
		搬送人員			3		1		1					8	13
	火災	災害件数		3									1		(4)
		飛行回数		21									1		22
	その他	災害件数												11	(11)
		救助人員													
	件数合計														(42)

※その他にあつては、物資搬送8件・情報収集3件

相互応援協定により、群馬県防災航空隊1件・埼玉県防災航空隊4件・長野県消防防災航空隊2件・静岡県消防防災航空隊2件の事案に出動して頂きました。

一方、広域航空消防応援（受援）では、5月に発生した蕪崎市内・甲府市内・道志村内、8月に発生した身延町地内の林野火災において、群馬県防災航空隊散水回数55回31,900ℓ・埼玉県防災航空隊は散水回数22回14,600ℓ・長野県消防防災航空隊は散水回数51回32,010ℓ・静岡県消防防災航空隊は散水回数54回24,350ℓの活動をして頂きました。

また、2月の豪雪災害時には、横浜市消防航空隊・長野県消防防災航空隊・静岡県消防防災航空隊に救助活動8件（17名救助）、救急活動1件、物資搬送8件、情報収集活動3件に出動して頂きました。その他2月に相互応援協定により、2件の事案があり長野県消防防災航空隊・静岡県消防防災航空隊に出動して頂きました。

※救助活動とは、要救助者を救助しへりに収容したことをいい、引き続き病院搬送した場合は救急活動としてカウントしてあります。

# 県庁防災新館完成に伴う屋上HP 離着陸訓練及び豪雪災害での活動

大規模災害発生時に、県民の生命と財産を守る防災拠点としての役割を果たす「防災新館」が平成25年9月28日完成しました。それに伴い同年12月24日に屋上ヘリポートにおいて「あかふじ」の離着陸訓練・県幹部職員搭乗訓練及び上空からの災害状況確認訓練・ヘリコプターテレビ（映像伝送システム装置）を使用する映像送信訓練を実施しました。県災害対策本部を統括する県幹部職員の参加を得て訓練を実施したことで、災害発生時での災害対策本部運営体制の強化や相互の連携強化など災害対応能力の向上を図ることができました。

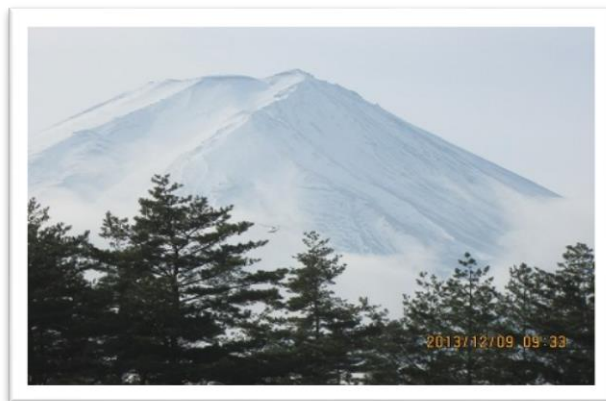
また、豪雪災害では県庁防災新館屋上ヘリポートを効果的に利用し、多数のヘリが離着陸に使用しました。



# 富士山世界文化遺産登録に伴う災害対応訓練

## ～訓練目的～

平成25年6月26日ユネスコの世界遺産委員会で富士山が、世界文化遺産に登録されました。世界文化遺産登録に伴い、旅客数が増加傾向にある中、平成25年12月9日、災害発生時の迅速な対応を図るため、自衛隊、県をはじめとする各関係機関との連携強化訓練を実施しました。



自衛隊投入訓練風景

## ～訓練を実施しての今後の課題等～

災害では、短期間に多くの情報処理、対応をすることとなります。どこでどのように情報を集約し効率よく対応できるか、また災害に対して早期に消防防災力を優位に構築することができるかが、とりわけ重要な課題です。

今回の訓練では、各関係機関と効率よく活動を連携することができました。

実災害を想定する中で、特に情報収集では東京消防庁の協力により、総務省消防庁ヘリコプター1号機（おおたか）に搭載されているヘリサット（ヘリコプター衛星通信システム）を活用しての映像を、総務省消防庁、県、各市町村、現場災害対策本部等で共有したことで、災害の状況を早期に把握することが可能となり、迅速な初動体制を構築することができました。



総務省消防庁ヘリコプター1号機（おおたか）

今後とも、県内消防本部との合同訓練を積極的に計画、実施し、検証を重ねていくことにより、当県のヘリコプターと関係機関、各消防本部、市町村等との一層の連携強化を図っていきたいと思います。

# 豪雪に伴う災害対応

2月14日未明から15日昼まで降り続いた雪は、甲府市で積雪114cm・河口湖で積雪143cmを記録するなど県内全域で観測史上最多の積雪となりました。各地で道路は寸断し、多数の孤立集落が発生しました。「あかふじ」は耐空検査で運休中のため、広域航空消防応援により、横浜市消防航空隊・長野県消防防災航空隊・静岡県消防防災航空隊に救助活動・救急活動・物資輸送・情報収集活動を行って頂きました。



『はまちどり2』



## 横浜市消防航空隊 活動詳細

- 2月15日 救助1件（甲府市）
- 2月16日 救急搬送1件（小菅村）
- 2月19日 物資搬送3件（※笛吹市・山梨市・山中湖村）  
救助1件・物資搬送1件（※大月市）
- 2月20日 救助1件（甲府市）・物資搬送1件（甲府市）  
情報収集1件（早川町）
- 2月21日 情報収集2件（甲府市・甲州市）
- 2月22日 救助1件（甲府市）

※1ミッションで2事案対応

2月22日の救助にあつては長野県消防防災航空隊と同事案に出動したもの。



『アルプス』

## 長野県消防防災航空隊 活動詳細

- 2月17日 救助1件（富士吉田市）
- 2月19日 物資搬送1件（市川三郷町）
- 2月22日 救助1件（甲府市）
- ※2月22日の救助にあつては横浜市消防航空隊と同事案に出動したもの。



『オレンジアロー』

静岡県消防防災航空隊 活動詳細

- 2月17日 救助1件（大月市）
- 2月19日 物資搬送2件（身延町・甲州市）
- 2月20日 救助1件（早川町）



ヘリベースで任務付与(航空隊双葉基地)の模様



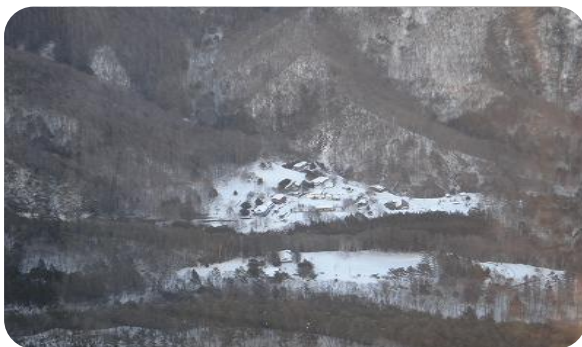
災害対策本部総合調整班の様様



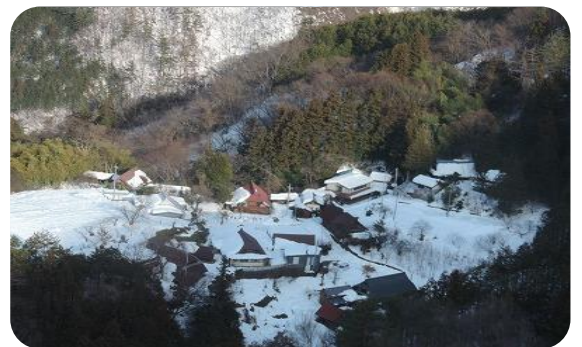
災害対策本部総合調整班の様様



孤立集落となった甲府市高成町地区



孤立集落となった甲州市塩山一ノ瀬高橋地内



孤立集落となった市川三郷町畑熊地内

# 北岳登山訓練

## 《目的》

平成25年7月16日・18日2班に分かれて北岳登山訓練を実施しました。

山梨県は富士山、北岳、間ノ岳等、日本有数の高山岳地域を管轄し、高山岳での活動を強いられています。また、登山ブームの影響もあり山岳救助への出動件数も増加の一途をたどり、平成24年3月に消防庁から報告された「消防防災ヘリコプターによる山岳救助のあり方に関する検討会報告書」では、「山岳救助に携わる立場として、管内の山岳地帯について良く知っておく必要があり、そのためには山に登ってみることが効果的である。実際に登山をすることで、その山岳地帯の特性を知ることができ、危険性や気象の変化等について身をもって体験できる。」と記載されている。当航空隊においても、山岳に関する知識、技術を養うため登山訓練を実施しました。



## 《登山訓練を実施して隊員の感想》

実際の登山で高山岳地特有の気象状況や天候の変化等を体感し、北岳の登山道及び山小屋等の地理、地形を確認する事ができ、要請場所の特定等、活動に関するイメージが持てるようになりました。また、危険箇所や周囲の状況を実際に確認することができたことは、活動を行う上で安全管理が徹底されました。





# 野営訓練

## 《目的》

平成25年8月30日清哲訓練場においてテント設営や炊き出し、仮想機体整備訓練を実施しました。

航空隊は他県応援出動時、後方支援隊がないためホテル等の宿泊に頼っていたが、東日本大震災では受援側がひどく被災したため応援側が自ら宿泊先の手配をした経緯があります。そのため、災害に対する対応力の向上を図ることを目的とし訓練を実施しました。



## 《野営訓練を実施して隊員の感想》

野営訓練を実施したことで、実災害で野営設定時、必要な資機材や材料等を把握することができ、今後の参考になりました。また、炊き出し訓練で最低限必要な材料・器材や食事可能までの時間配分が確認できました。

炊き出し準備、照明設営など事前に担当を決めておくことで更に効率の良い訓練になると思います。また、普段取り扱うことが少ない資機材を取り扱いなど大きな成果が得られ、定期的の実施することで更に充実が図れます。



# 合同訓練実施内容

## ・南アルプス市消防本部 (平成25年4月13日：南アルプス市)

大規模災害時「あかふじ」との連携をスムーズに行うことを目的に合同訓練を実施しました。救出救助訓練や救助隊員投入訓練を行い、充実した訓練となりました。



## ・山梨県水防訓練 (平成25年5月26日：山梨市)

重川で実施した水防訓練に参加し、中州に要救助者が取り残された想定で救出救助訓練を行いました。当日は多くの人が見守る中、関係機関と連携し充実した訓練となりました。



## ・熊本県防災消防航空隊視察研修 (平成25年5月23日：清哲訓練場)

熊本県防災消防航空隊の3名が視察研修のため来隊しました。格納庫において駐機訓練や各種資機材を見学しました。また、「あかふじ」に搭乗して清哲訓練場で訓練を実施し、訓練後の意見交換を行い相互の交流を深めることができました。



## ・「平林ヘリポート」完成に伴う合同訓練 (平成25年6月24日：富士川町)

富士川町及び峡南消防本部、山梨県ドクターヘリが参加して地震被害による主要道路が寸断され孤立集落が発生した想定で合同訓練を実施しました。救出救助訓練や物資搬送訓練を行い、各機関との連携強化を図ることができました。



## ・都留市消防本部合同訓練

(平成25年7月8日：都留市)

地震により被害が発生した想定で合同訓練を実施しました。地上救助隊と協力し要救助者の救出訓練を行い、有事の際の連携強化を図ることができました。



## ・笛吹市消防本部合同訓練

(平成25年7月23日：御坂町)

大規模災害発生に備え、ヘリTV小型受信機の取扱い訓練、救出救助訓練、給散水訓練を行いました。訓練を行い相互の連携強化を図ることができました。



## ・消防学校初任科教育実習

(平成25年7月19日：敷島総合公園)

県消防学校の初任科学生を対象に午前には消防学校で講義、午後は敷島総合公園で機体を使用した実機訓練や資機材展示等を実施しました。



## ・山梨県立中央病院合同訓練

(平成25年7月24日25日

平成25年8月21日～23日：清哲訓練場)

山梨県内で発生する災害に対して迅速な対応を図るため、医師及び看護師を「あかふじ」に搭乗し、また、救急現場からピックアップすることを目的とした合同訓練を実施しました。



## ・防災危機管理課合同訓練

(平成25年8月12日～28日：  
清哲訓練場)

防災危機管理課の職員を対象に「あかふじ」の訓練の見学をして頂き、実際の活動を肌で体験してもらいました。防災危機管理課の職員に普段の訓練や活動等を知ってもらい、相互の連携強化を図ることができました。



## ・第50回甲府市総合防災訓練

(平成25年8月25日：甲府市)

甲府市役所屋上にヘリTV小型受信装置を設置し、上空からヘリTV映像により被害状況を送信し、災害対策本部のモニターで被害状況を確認しながら情報の伝達訓練を行いました。甲府市役所が新庁舎となり初めての訓練でしたが各関係機関と連携を図り、スムーズに行うことができました。



## ・山梨県地震防災訓練

(平成25年9月1日：甲州市)

上空からヘリTVにより被災状況を送信し、災害対策本部に情報の受伝達訓練後、物資輸送訓練、孤立集落救出訓練を行いました。地域住民、東山梨消防本部や各関係機関と連携強化を図り、県民にヘリコプターの有効性を理解して頂きました。



## ・富士五湖消防本部及び峡南消防本部との合同水難訓練

(平成25年9月24日：本栖湖)

本栖湖において水難救助合同訓練を行いました。情報収集訓練や湖に取り残された要救助者の救出訓練を実施しました。指揮系統の強化や各消防本部と情報共有を図ることができました。



## ・自衛隊及び峡南消防本部との火災防御活動合同訓練

(平成25年9月27日：南部町)

大規模な山林火災を想定し峡南消防本部、自衛隊、山梨県の連携強化、災害対応能力の向上と、非常時の消火態勢の確立を図ることを目的とした訓練を実施しました。



## ・県民の日記念行事

(平成25年11月16日17日：  
小瀬スポーツ公園)

県民の日記念行事の一環として、毎年恒例の機体展示などを甲府市小瀬スポーツ公園補助競技場において2日間実施しました。今年もたくさんの親子連れを中心とする見学者が集まり、訓練や機体を見学していました。



## ・長野県総合防災訓練

(平成25年11月3日：長野県諏訪市)

長野県の総合防災訓練に参加しました。セミブラインド方式で給散水訓練、救急搬送訓練を行いました。相互応援協定を締結している長野県消防防災航空隊を始め各関係機関と連携した訓練ができました。



## ・峡南地区大規模災害時医療救護訓練

(平成25年11月20日：富士川町・山梨市)

大規模災害に備え、峡南消防本部・峡南保健所をはじめとする各関係機関が地震発災直後の医療救護に関する各自の役割と活動等を確認する合同訓練を行いました。2名救出後、峡南管内の病院は、受入困難なため、山梨市までの救急搬送も行いました。各関係機関と緊密な連携体制の構築を図ることができました。



・北海道防災航空隊視察研修  
(平成25年11月22日：清哲訓練場)

北海道防災航空隊の3名が視察研修のため来隊しました。格納庫において駐機訓練や各種資機材を見学し、「あかふじ」に搭乗して清哲訓練場で訓練を実施しました。また、意見交換も行い相互の交流を深めることができました。



・峡北消防本部合同訓練  
(平成25年11月26日：蕪崎市)

相互の円滑な連携体制を図ることを目的に、蕪崎滑空場において合同訓練を行いました。地上救助隊と協力し物資搬送訓練、救出救助訓練、給散水訓練を実施しました。



・埼玉県防災航空隊合同訓練  
(平成25年12月3日：清哲訓練場)

相互応援協定を締結している埼玉県防災航空隊が来隊し、清哲訓練場において「あらかわ4」と「あかふじ」の両機体で訓練を実施しました。お互いの機体に搭乗して、それぞれの活動技術を間近で確認することで技術向上を図る訓練となりました。



・広島県防災航空隊・広島市  
消防航空隊視察  
(平成26年2月13日)

広島県防災航空隊・広島市消防航空隊の4名が視察研修のため来隊しました。駐機訓練や各種資機材を見学後、当航空隊の活動や訓練を動画等で紹介しました。また、意見交換も行い相互の交流を深めることができました。

